

地域から学校が消える!?

教育委員会が市内 13 会場で意見聴取会



高梁市立学校園適正配置検討委員会

教育委員会において、学校園の適正配置を検討するため、「高梁市立学校園適正配置検討委員会」を設置し、令和5年9月1日、教育関係の学識経験者3名と議員1名、保護者の代表7名、地域からの代表6名の計17名が委員に委嘱されました。

平成30年に「学校再編推進審議会」の答申が出されてから5年しか経過していないにもかかわらず、検討委員会が設置されたのは、少子化が予想以上のペースで進化したからです。

検討委員会では、5年から10年先を見据えて、前回の答申「教育環境を確保するための小中学校再編の基本的な考え方」を基本に、高梁市の子どもたちにとって最適な教育は何かということを最優先に議論し、協議を重ね、令和5年12月25日に教育長へ報告書を提出しました。

教育委員会では、検討委員会

からの報告書について、1月11日から2月1日の間、市内13カ所において意見聴取会を開催し、説明するとともに、意見の収集を行いました。議員も可能な限り意見聴取会に同席し、参加者の意見、発言を傾聴しました。

議会においては、令和6年2月16日の議会全員協議会で、改めて学校再編検討の経緯から、検討委員会による学校再編基準、通学条件や新基準に基づく適正配置計画（案）が示され、また意見聴取会で寄せられた意見について説明を受け、質疑を行いました。

今後、意見聴取会で寄せられた意見一つ一つが精査され、計画に反映されます。そうして練り直されたものが、再び質疑されることとなります。議会としても、地域の声に耳を傾けながら、持続可能な教育環境の構築に尽力していきます。

討 論

反対討論

石部 誠 議員

新年度予算は大型公共事業の見直しはされず、一部企業や団体などへの事業委託が優先的に予算組みされ、市民サービスの低下が見られる。

学校統廃合や学校給食センター、学童保育の民間委託などが予定されているが、教育に係ることは直営で行うべき。職員の人員不足等での民間委託は、委託先で働く方が低賃金に追い込まれ地域経済も低迷させる。

吉備国際大学への1億円の支援は、学生数がピーク時から3分の1の1100人程度。市と大学の協力は必要であるが、市民や地域支援からみて特別扱いされている。シャルムのコーチや選手が地域おこし協力隊として5人配置されるなど、移住定住施策として市外からの移住支援は多々あるが、地域に残り支えている方々の応援が必要ではないか。

また国保財政では基金の約7億円を、高すぎる国保税の引き下げに使うべき。吉備国際大学留学生の毎年数百万円の不納欠損が他の国保加入者に乗せられている問題は解決されていない。

また今定例会の一般質問で、同様の質問を行った2人の議員に対して執行部が違う回答を行った。若い職員が多数退職する状況を鑑みても執行部の行革が必要と考え、2議案に反対する。



賛成討論

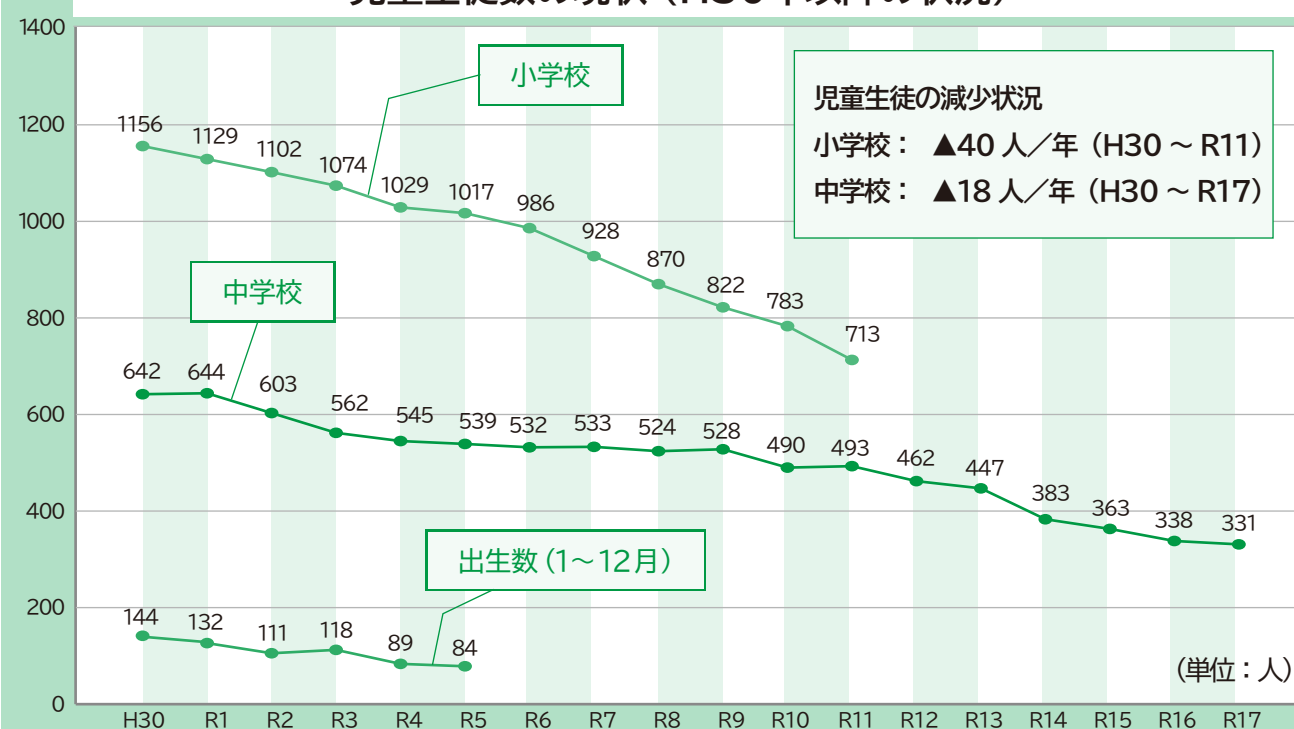
森 和之 議員

提案された全ての議案に賛成の立場から討論する。

一般会計予算については来年度も財政が厳しい中、多方面にわたっての予算配分に努められたことは評価に値する。この予算には地域おこし協力隊に関する予算が含まれている。国の特別交付税を活用し、人口減少対策に向けた取り組みとして一定の理解を示すが、地域おこし協力隊の本来の活動としては、かけ離れたものではないかと疑問を感じる。地域おこし協力隊として、結果を残せるように予算執行には努めていただきたいことを申し添える。

今後も大型公共事業が続くが、行財政改革をより一層スピード感をもって進めていくことを強く求め賛成する。

児童生徒数の現状（H30年以降の状況）



3月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席

件 名	金尾	新倉	平松	伊藤	森上	森	石井	三村	石部	宮田好	小林	川上修	倉野	川上博	宮田公	大月
議案第39号 令和6年度高梁市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号 令和6年度高梁市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。